2008 年 6 月 27 日　ブラザー工業（株）

1　はじめに

本資料は、DS Magic SD/GA Ver5.0.1 で対応した日本 HP 社製 Designjet Z6100 シリーズ(以降 DJZ6100 と表記する)において、DSMagic 対応外メディアを使用するための手順を説明した補足資料です。

注意１）本資料の内容は、記載日時点での各製品に対する表示状態や操作内容に基づいて記述しています。これらは将来、各製品の修正及び変更により相違が発生する場合があります。

注意２）DJZ6100 内蔵の測色計を使用して DSMagic 対応外メディアの出力プロファイルを作成する場合、別途 DJZ6100 プリンタオプションの HP Advanced Profiling Solution（以降 HP APS と表記する）が必要になります。また、対応外メディアは横幅 610mm 以上必要です。

注意３）DSMagic 対応外メディアを使った場合の印字品質を保障するものではありません。

注意４）DJZ6100 及び HP APS は弊社製品ではありません。これらに関する仕様または操作方法等に関しましては、各製品の販売元へお問い合わせいただくようお願いいたします。

2　DJZ6100 プリンタへの用紙の登録

HP 非純正用紙をご使用の場合には、DJZ6100 プリンタユーザマニュアル「HP 純正以外の用紙を使用する」に従って、カスタム用紙を登録してください。
HP 純正用紙をご使用の場合には登録は必要ありません。

3　DJZ6100 プリンタへの用紙取り付け時の設定

プリンタへ用紙を取り付ける際にプリンタパネルの案内に従って、該当する用紙の種類を選択してください。
HP 非純正用紙の場合には「カスタム用紙」から、登録した用紙を選択してください。

4　印刷確認

色味の確認のため実際に出力されるデータまたはそれに近いデータを印刷し、印刷結果を確認します。
印刷する際には、DSMagic 対応メディアの中からご使用のメディアに近いものを選択してください。
印刷結果を確認して支障なければ、今後ご使用のメディアで印刷する際には、選択した DSMagic 対応メディアを指定して印刷してください。
印刷を確認した結果、色味の調整が必要であれば、「５．色調整を行う」を実施してください。

5　色調整を行う

DSMagic には印刷時の色味を調整する機能があります。またこの調整設定内容を保存しておき、印刷時にその設定を呼び出すことにより同じ印刷条件で繰り返し印刷することができます。
この機能を使用して、ご使用のメディアを印刷する際の色調整方法及びその保存方法をご説明します。

5.1　色調整ファイルの作成

■　色調整の開始

1) 印刷データをドライバレイアウト印刷またはドロップレイアウトフォルダへコピーします。

2) PC のデスクトップより「DS Magic」アイコンをダブルクリックしスタート画面を表示します。
ユーザ名とパスワード入力画面で管理者権限のあるユーザを入力します。

3) 「印刷設定」を押します。

4) DS Magic 画面より［印刷設定］を起動します。

5) 印刷するドキュメントを選択して［新規配置］を押します。
「レイアウト」画面の「レイアウトタブ：プリンタタブ」で「プリンタ」、「解像度」等を指定します。その際、「メディア」は DSMagic 対応メディアの中からご使用のメディアに近いものを選択してください。
※　プリンタは DSMagic5GA 版で複数プリンタをインストールした場合のみ指定が必要です。

6) 「ドキュメント」内「色調整」タブ中の色調整パラメータ［設定］を押して下さい

■ **色調調整**

出力インクの混合比をダイレクトに設定します。

1) 「色調整ダイアログ」で［色調調整］を押して下さい。
2) 以下の説明を参考にして調整を行います。
3) [設定]を押します。
4) 印刷をして調整結果を確認します。
適切な色調で印刷されるまで繰り返し、１）から４）を実施します。

-説明-

テーブルではシアン、マゼンタ、イエロー、ブラックのそれぞれの入力（In）に対し、4 色をどのような割合で混合して出力するかを指定します。プラス・マイナス何れの指定も可能です。マイナスの値は、ある原色に含まれる他原色の色味を押さえる場合にご使用ください。

（例）

赤（=100% マゼンタ+100% イエロー）の色味が朱色っぽい場合（イエローが強い）、マゼンタ（In）に対するイエロー（Out）の値をマイナスに設定すると、この不具合は効果的に改善できます。

※ イエロー（In）- イエロー（Out）の値を低めに設定することで、朱色の問題は解消できますが、この手法ではイエローベタが再現できなくなってしまいます。

※ デフォルトでは上のテーブルのように指定されており、これは 4 色の入力に対して、それぞれの色を入力した量そのまま 100%で印刷する、つまり色調を全く変化させずに印刷することを意味しています。

■ **階調調整**

トーンカーブによる調整を行います。

1) 「色調整ダイアログ」で［階調調整］を押して下さい。
2) 以下の説明を参考にして調整を行います。
3) [設定]を押します。
4) 印刷をして調整結果を確認します。
適切な色調で印刷されるまで繰り返し、１）から４）を実施します

-説明-

「濃度」	出力画像の濃度調整を行います。
「明暗」	全体的な明暗調整を行います。ハイライト部が濁っている、シャドウ部の締まりが無いというときに利用すると効果的です。
「ダイナミックレンジ」	再現階調幅の拡大縮小を行います。デジカメやスキャナで取得した画像の様に、全ての階調を利用していない画像に対して階調幅の拡大を行うとコントラストが向上させることができます。
「ガンマ」	ハイライト部やシャドウ部の階調欠落を防止しながら、明暗調整を行います。
「コントラスト」	ハイライト部やシャドウ部の階調欠落を防止しながら、画像にコントラストをつけることができます。

■　**後処理**

画面の鮮明さとインクの最大吐出量を調整します。

1) 「色調整ダイアログ」で［階調調整］を押して下さい。

2) 以下の説明を参考にして調整を行います。

3) [設定]を押します。

4) 印刷をして調整結果を確認します。
適切な色調で印刷されるまで繰り返し、１）から４）を実施します

-説明-

「シャープネス」　レベルを変更することにより画面の鮮明さを設定します。

「インク総量規制」　「インク総量規制を自動設定」のチェックをはずすことにより、単位面積当たりのインク最大吐出量を手動調整できるようになります。
記録用紙の種類に応じてインクの吸収具合が異なるため、同じ吐出量であってもインクが乗り過ぎてにじみが発生する、または逆に不足気味で淡い眠い画像になってしまうことがあります。インク総量規制値を変更することによりこの状況を改善することができます。
インク総量規制の設定範囲は 0% ～ 400% です。400%設定 は CMYK 4 色とも 全吐出する状態で、この設定値を減らすことで CMYK のインク吐出量の総和がその値を超えないように制限されます。

■　**色調整ファイルの保存**

設定した結果を色調整ファイルへ保存します。

5) 「色調整ダイアログ」を開いている場合は［設定］を押し、画面を閉じます。

6) 「ドキュメント」内「色調整」タブ中の［保存］を押します。

7) 「色調整ファイル」にファイル名を入力します。

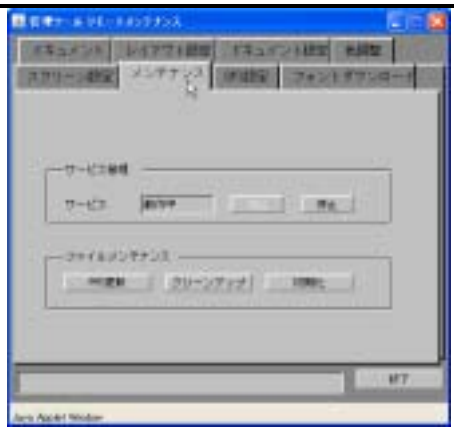
8) [保存]を押します。

5.2　PPD 更新

ドライバ印刷する際に、保存した色調整ファイルを指定できるようにするために PPD を更新します。

1) スタート画面で［管理ツール］をダブルククリックします。

2) 「メンテナンス」タブを選択します。
選択できない場合は、一旦全ての DSMagic 画面を閉じ、再度デスクトップアイコンをダブルクリックします。
ユーザ名とパスワード画面が表示されたら、管理者権限を持つユーザを入力します。
1)からの操作を継続します。



3) ［PPD 更新］を押します。

4) ［終了］を押します。

5) 全ての DSMagic 画面を閉じます。

5.3　クライアント PC への PPD 再登録

DSMagic をインストールした PC 以外（クライアント PC）からドライバ印刷を行う場合は、クライアント PC の設定を行います。

DSMagic 取扱説明書の「第３章　印刷する前に」の「クライアント PC の設定」に従って設定を行ってください。

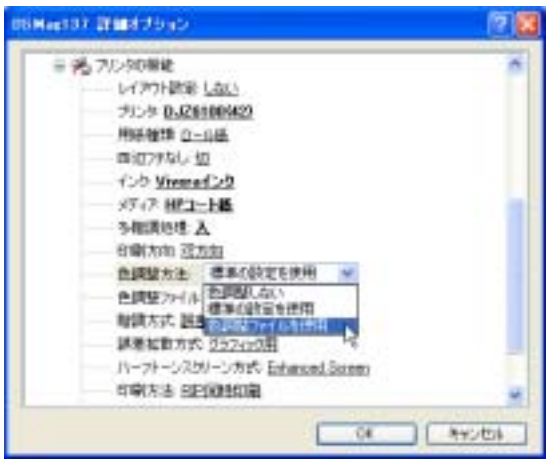
6 印刷方法

6.1 DSMagic 対応メディアとして印刷を行う場合

確認印刷をして色味の調整が必要ない場合は、確認をした DSMagic 対応メディアを選択して印刷してください。

6.2 色調整ファイルを使用してドライバ印刷を行う場合

1) 印刷したいドキュメントをアプリケーションで開きます。
2) 印刷するプリンタとして「DSMag000」を選択します。
   用紙設定を適切に行います。
   合わせて、プリンタ本体のパネル上でも、セットした用紙の種類及びサイズを設定して下さい。
3) 「DSMag000」プリンタのオプションを設定します。
   「色調整方法」で「色調整ファイルを使用」を選択してください。
   複数の色調整ファイルを登録した場合は、「色調整ファイル」が選択可能になりますので、適切なファイルを選択してください。
   ※　図では DSMag137 となっています。
4) 「詳細オプション」画面の［OK］を押します。
5) 「印刷設定」画面の［OK］を押します。
6) 「印刷」画面の［印刷］を押します。



備考

常に同じ色調整ファイルを指定して印刷する場合は「環境設定ツール」で色調整方法の規定値を変更することができます。

1) Windows の「スタート」-「プログラム」-「DS Magic」-「環境設定ツール」を選択して、「環境設定ツール」を起動します。
2) 「カラーマネージャ」タブを選択します。
3) 「色調整ファイルを選択して設定する」を選択し、保存した色調整ファイルを選択し、［OK］を押します。
4) アプリケーションの印刷の設定画面において、「色調整方法」で「標準の設定を使用」を選択し、印刷します。

6.3　色調整ファイルを使用してレイアウト印刷を行う場合

1) 印刷データをドライバレイアウト印刷またはドロップレイアウトフォルダへコピーします。
2) DS Magic 画面より［印刷設定］を起動します。
3) 印刷するドキュメントを選択して［新規配置］を押します。
「レイアウト」画面の「レイアウトタブ：プリンタタブ」で「プリンタ」、「解像度」等を指定します。その際、「メディア」は色調整ファイルを作成した際に使用した DSMagic 対応メディアを選択してください。
※　プリンタは DSMagic5GA 版で複数プリンタをインストールした場合のみ指定します。

4) 「ドキュメント」内「色調整」タブ中の色調整ファイル［開く］を押して下さい。

5) 使用する色調整ファイルを選択してください。
6) ［開く］を押します。

7) 「レイアウト」画面で［印刷］を押します。

6.4　出力プロファイルを作成して印刷を行う場合

本資料の「７．出力プロファイルの作成」を実施後、DSMagic 取扱説明書「第７章　便利な使い方」の「カラープロファイルを使った印刷」に記載された「カラープロファイルの登録」及び「登録したカラープロファイルを使った印刷」に従い、印刷してください。

6.5　カスタムメディアとして登録して印刷を行う場合

DS Magic GA 版をお使いのお客様は「MediaRegister」ツールを使用することにより、作成した出力プロファイルを使用する追加メディアを作成し、DSMagic に登録することができます。
登録された追加メディアは、DSMagic 対応メディア同様に選択して印刷することができます。
本資料の「７．出力プロファイルの作成」を実施後、DSMagic 取扱説明書の「第 8 章　ツール」の「MediaRegister」の説明に従ってカスタムメディアを登録してください。

7　出力プロファイルの作成

使用する DSMagic 対応外メディアの出力プロファイルを作成します。
DJZ6100 には測色計が内蔵されていますので、DJZ6100 プリンタオプションの HP APS を追加購入していただくことにより出力プロファイルを作成することができます。
また、お手持ちのプロファイル作成環境でプロファイル作成していただくこともできます。
但し、プロファイル作成環境の種類によっては、作成されたプロファイルが DS Magic では読み込めない場合があります。予めご了承ください。

注意

DSMagic で使用するプロファイルのファイル名及びディスクリプション名には以下の制限があります。

- カラープロファイルを登録する際に既存のカラープロファイルと同一のファイル名またはディスクリプション名を持つファイルは登録しないよう注意して下さい。
- ファイル名またはディスクリプション名に次の特殊文字、及び全角（日本語）文字の入ったファイルは使用できません。 （ ¥/： ＊ ？ ” ＜ ＞ ｜）

既存のプロファイル一覧参照方法

1. Windows の「スタート」－「マイコンピュータ」（Vista の場合は「コンピュータ」）を起動する。
2. アドレスに「¥¥<コンピュータ名>¥colprof を入力する。
   <コンピュータ名>は PC に付けたコンピュータ名に置き換える。
3. profilelist.txt をダブルクリックする。

注意）この「profilelist.txt」は編集しないでください。

7.1　HP APS を使用する場合

DSMagic 用のプロファイルを作成する場合は、開始時のプリンタの選択で「その他のプリンタ［CMYK］」を選択してください。
詳細な操作手順はプリンタ及び APS のマニュアルを参照してください。
途中、テストパッチを印刷する必要がありますが、DSMagic を使って以下の手順により無変換で印刷してください。

1. 幅 610mm 以上のメディアを、DJZ6100 プリンタに設定する。
2. DJZ6100 プリンタパネルで下記設定を行う。
   ［カラーマネージメント］セクションの CMYK 入力プロファイルを“ なし（ネイティブ）”にする。
   ［カラーマネージメント］セクションの RGB 入力プロファイルを “ なし（ネイティブ）” にする。
3. APS が生成したテストパッチを、ドロップレイアウトフォルダへ投入する。
4. DSMagic を起動し、下記設定でレイアウト印刷する。
   ・テストバッチのスケールを 100%に設定する。
   ・テストバッチの左上を［0.00, 0.00］に設定する。
   ・レイアウトしたテストパッチの下端に約 200㎜ の余白が付くよう用紙サイズを調整する。
   ・用紙下端ラベルを設定する。
   ・プリンタの印字モード(解像度,インク,メディア)を、ICC プロファイルを作成したいモードに設定する。
   ・色調整ダイアログの色変換において CMYK 変換方式を無変換にする。
   ・色調整ダイアログの詳細においてチェックを全てはずす。
5. 印刷物をカットする際には、パッチの上端と左端はカットせず、パッチの下端は約 **200㎜** の余白をあけてカットし、右端はメディアの左端から 610mm の位置でカットする。

7.2　お手持ちのプロファイル作成環境を使用する場合

プロファイル作成環境の取扱説明書の手順に従ってプロファイル作成をしてください。
途中、テストパッチを印刷する際には、DSMagic を使って以下の手順により無変換で印刷してください。

1. DJZ6100 プリンタパネルで下記設定を行う。
   ［カラーマネージメント］セクションの CMYK 入力プロファイルを “ なし（ネイティブ）” にする。
   ［カラーマネージメント］セクションの RGB 入力プロファイルを “ なし（ネイティブ）” にする。
2. プロファイル作成環境が生成したテストパッチを、ドロップレイアウトフォルダへ投入する。
3. DSMagic を起動し、下記設定でレイアウト印刷する。
   ・テストバッチのスケールを 100%に設定する。
   ・テストバッチの左上を［0.00, 0.00］に設定する。
   ・プリンタの印字モード(解像度,インク,メディア)を、ICC プロファイルを作成したいモードに設定する。
   ・色調整ダイアログの色変換において CMYK 変換方式を無変換にする。
   ・色調整ダイアログの詳細においてチェックを全てはずす。

7.3　GA 訪問色調整サービス（サービスオプション）利用制限

GA 訪問色調整サービスでは、DS Magic が提供していない出力プロファイルを使用した色調整作業を一切行いませんのでご了承ください。
また、HP APS を使った出力プロファイルの作成や、その助言をするものでもありませんのでご了承ください。

―以上―